

**令和6年度事業報告（被害者支援センター）**

項 目	内 容
電話・面接相談	<p>○ 電話相談 犯罪等の被害者及びその家族又は遺族（以下「犯罪被害者等」という。）からの相談を職員又は被害者支援ボランティアが専用電話（０１２０－４３－０８７４）等で受理し対応した。</p> <p>○ 面接相談 面接相談を希望し又は電話相談の結果、面接相談が必要と認められる犯罪被害者等に対して、職員等がセンター面接相談室などで面接し対応した。</p> <p>○ 電話・面接相談の受理状況 受理総数 364 件（相談実人数 97 名） 相談手段～電話 260 件、面接 75 件、文書 7 件、メール 22 件 居住地域～東部 280 件、中部 18 件、西部 39 件、県外 10 件、不明 17 件 主な内容～性犯罪、ＤＶ、交通事故、詐欺、傷害暴行、その他</p> <hr/> <p>○ カウンセリング及び医療的措置の支援 メンタルケアを必要とする犯罪被害者等に臨床心理士等専門家を紹介した。</p> <hr/> <p>○ 法的救済支援 法律専門家による相談が必要と認められる犯罪被害者等に対して、協力弁護士を紹介した。（３件）</p>
直接的支援	<p>○ 役務の提供等 犯罪被害者等の精神的負担の軽減を目的として、その要望に応じて付添い、送迎等の支援を行った。 支援実施総数 154 件（支援実人数 12 名） 裁判所関連（付添・代理傍聴）12 件、弁護士事務所付添 8 件、法律相談 10 件、検察庁関連 3 件、病院付添 27 件、市役所等付添 30 件、生活支援 8 件、その他（送迎等）56 件</p> <p>○ 全国被害者支援ネットワーク被害者緊急支援金の支給 なし</p>
犯罪被害者等給付金申請補助	<p>○ 犯罪被害者等給付金の申請補助 なし</p>
自助グループに対する支援	<p>○ 場所提供等 犯罪被害者自助グループ「なごみの会」に対し、定例集会時の会場準備、資料・情報提供等の支援を行った。（４回）</p> <p>○ 「いのちのパネル展」の支援 「なごみの会」が市役所、講演会場、警察施設等で開催する「いのちのパネル展」の設置準備等の支援を行った。（12 回）</p>

<p>広報・啓発活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 講演会等の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7月31日「被害者支援を考える講演会」を開催 とりぎん文化会館小ホール 約200名参加 犯罪被害者ご遺族（渡邊勇氏・渡邊達子氏）の講演。</li> <li>・ 11月29日「鳥取県被害者支援フォーラム」を開催 とりぎん文化会館小ホール 約200名参加 石破茂内閣総理大臣からのメッセージ上映、犯罪被害者ご遺族（土師守氏）の講演、鳥取県警察音楽隊による演奏を行い、当センターの被害者支援ソング「涙のち 晴れ」の演奏等を披露した。</li> <li>・ 「命の大切さを学ぶ教室」を開催 2回2校実施（高校1校、中学校1校） 犯罪被害者ご遺族の講演を通じ中高校生等に対して命の大切さの意識高揚を図った。</li> </ul> </li> <li>○ ホームページによる広報活動の推進 ホームページを随時更新し、講演会の案内等新着情報をタイムリーに掲示した。</li> <li>○ 機関紙「センターだより」の発行（2回） センターだより第31号（7月）、32号（2月）を発行し、関係機関、賛助会員等へ送付し、センターの事業活動を報告するとともに協力を呼び掛けた。</li> <li>○ 街頭広報の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11月の犯罪被害者週間に併せて JR 鳥取駅、鳥取・倉吉・日吉津村内のショッピングセンターにおいて、県、警察、センター役員、ボランティアが参加して、犯罪被害者支援への協力を呼び掛けた。（4回）鳥取市内のショッピングセンターではチャリティーバザーを開催した。</li> </ul> </li> <li>○ 被害者支援講演会等の実施 被害者支援に関する意識の高揚・啓発を推進するため、各関係機関等の研修等に出向き、講演活動を行った。（15回）</li> <li>○ 講演会、フォーラムの新聞広告を利用した広報とチラシ・ポスターの作成配布した。</li> </ul>
<p>関係機関・団体等との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県外研修会等への参加 「全国被害者支援ネットワーク」が主催する全国会議やフォーラム、中国四国ブロック会議・研修会等に参加した。</li> <li>○ 県内の関係機関との連携強化 被害者支援に関わる警察及び行政機関の会議、研修会等へ出席し意見交換を行うとともに連携等について協議を行った。（33回）</li> </ul>
<p>被害者支援ボランティアの養成、研修</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 募集活動 新聞広告の掲載（3回）、チラシ（500枚）を作成しボランティアの募集活動を行った。</li> <li>○ 被害者支援ボランティアに関する問い合わせはあったものの、応募者はなかったことから採用時養成講座は実施しなかった。</li> <li>○ 継続研修でスキルアップを図った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ センター主催研修 4回実施（延べ33名参加）</li> </ul> </li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 全国被害者支援ネットワーク主催中国四国ブロック研修等への参加（延べ 11 名参加）</li></ul>																
財政・体制強化の推進	<ul style="list-style-type: none"><li>○ ファンドレイジング活動の推進<ul style="list-style-type: none"><li>・ 全国犯罪被害者支援ネットワークの「ホンデリング・プロジェクト」に参加し、不要本の売却金を寄付していただく活動を実施した。</li><li>・ 「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」に参加し、毎月 11 日にレシート投函を呼び掛けてレシート金額の 1 %を寄付していただく活動を実施した。</li><li>・ 鳥取県共同募金会のつかいみちを選べる募金助成事業（1 月～3 月末）に参加し、募金活動を実施した。</li><li>・ 「有限会社 SUNABACOMPANY」様と「有限会社 亀井堂」様のご協力により寄付型商品（犯罪被害者支援商品）の販売売上の一部を寄付していただく活動を実施した。</li><li>・ 賛助会員の維持・拡大と寄付型自動販売機、募金箱の設置拡充に取り組んだ。<table><tr><td>寄付型自動販売機</td><td>65 台</td><td>（前年度</td><td>67 台）</td></tr><tr><td>募金箱</td><td>174 か所</td><td>（前年度</td><td>173 か所）</td></tr><tr><td>寄付</td><td>団体 140 団体</td><td>（前年度</td><td>178 団体）</td></tr><tr><td></td><td>個人 79 名</td><td>（前年度</td><td>207 名）</td></tr></table></li></ul></li></ul>	寄付型自動販売機	65 台	（前年度	67 台）	募金箱	174 か所	（前年度	173 か所）	寄付	団体 140 団体	（前年度	178 団体）		個人 79 名	（前年度	207 名）
寄付型自動販売機	65 台	（前年度	67 台）														
募金箱	174 か所	（前年度	173 か所）														
寄付	団体 140 団体	（前年度	178 団体）														
	個人 79 名	（前年度	207 名）														
組織の運営体制	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 正会員数：23 名<table><tr><td>団体</td><td>17 団体</td><td>（前年度</td><td>17 団体）</td></tr><tr><td>個人</td><td>6 名</td><td>（前年度</td><td>6 名）</td></tr></table></li><li>○ 賛助会員数<table><tr><td>団体</td><td>87 団体</td><td>（前年度</td><td>87 団体）</td></tr><tr><td>個人</td><td>115 名</td><td>（前年度</td><td>130 名）</td></tr></table></li><li>○ 職員数<ul style="list-style-type: none"><li>常勤職員：2 名</li><li>非常勤職員：4 名（事務局 2 名、西部相談所 2 名）</li><li>臨時職員：1 名</li></ul></li><li>○ 支援活動員（ボランティア）登録数 32 名</li></ul>	団体	17 団体	（前年度	17 団体）	個人	6 名	（前年度	6 名）	団体	87 団体	（前年度	87 団体）	個人	115 名	（前年度	130 名）
団体	17 団体	（前年度	17 団体）														
個人	6 名	（前年度	6 名）														
団体	87 団体	（前年度	87 団体）														
個人	115 名	（前年度	130 名）														